



聴覚に障害のある子どもへの指導・支援

音声文字変換を活用する方法は…？

ききとりにくい問題を改善するために、スマホやタブレットを活用した「音声文字変換」のアプリがあります。文字起こしのアプリには様々なものがあります。ここでは一例ですがご紹介します。

「こえとら」



聴覚障がい者と聞こえる人の間のコミュニケーションを支援するために開発されたアプリです。

音声で文字入力でき、または文字を音声へ変換もしてくれるので、書くことやキーボード入力が苦手な人との筆談でも使うことができます。インターネットにつながってなくても使用できます。

「YY 文字起こし」

(iOS 版)



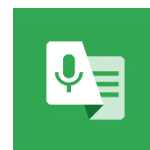
「YYProbe」 (Android 版)



無料アプリ

高精度で話し声を文字起こしするだけでなく、声の有無や周囲の音（音楽や笑い声等）も見える形で表示されます。

「Google 音声文字変換」



会議などでの発語を文字化します。

文字化された文章をコピーして別の文書に張り付けることができるので、議事録のための文字起こしとしても使えます。

[新機能] 音検知通知

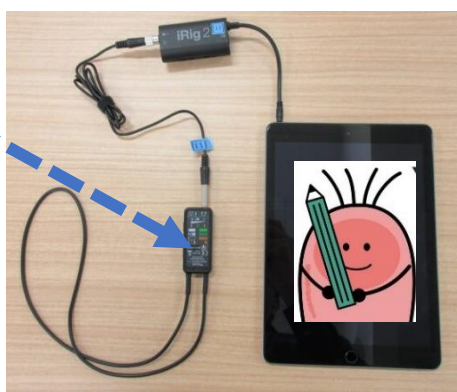
周囲の火災警報器やドアチャイムなどの音を検知し、スマホへの通知ができるようになりました。

(Android スマートフォンのみ)

雑音の中でのききとりや、授業中、教師の声をききとりの改善のために、「集団補聴援助システム」（ロジャーマイク等）を活用することで、きき取りやすくなる場合があります。

ここでは、「音声文字変換アプリ」と「集団補聴援助システム」（ロジャーマイク等）を一緒に活用することで「聴覚情報」と「視覚情報」の両面でサポートする方法をご紹介します。

【話者から離れている場合】



マイリンク（またはネックループ）⇒ 超ミニプラグアダプター⇒
ミニプラグ・標準プラグ⇒ iRig2⇒ スマホ/タブレット/PC